

2021年 JDCHCT/全国調査ニュース（第43回 日本造血細胞移植学会総会プログラム）

## 全国調査登録 注意事項 TRUMP2® 知って安心な使い方

坂井 志帆（日本造血細胞移植データセンター, JDCHCT）



第43回日本造血細胞移植学会総会（2021年3月5日～7日東京都千代田区）におけるオンデマンド配信プログラム「JDCHCT/全国調査ニュース」（2021年3月12日～31日）の配信時掲載スライドを公開いたします。

本発表では、造血幹細胞移植レジストリ「TRUMP2」のご使用方法につきまして、日ごろお問い合わせを受けることの多い「使い方」の面にフォーカスしたご説明を企画いたしました。

既にご存じの内容からご存じでなかった内容まで、皆様のご使用の際に役立つ情報をお伝えできればと考えております。

- 1. TRUMP2® バージョンアップの方法**
- 2. データ管理PCの切り替え方法**
- 3. 必須項目をどうしても入力できない時の対処方法**
- 4. お問い合わせ先**

1. TRUMP2® バージョンアップの方法

## TRUMP2® バージョンアップの方法

- ①台帳登録データ提出期間の前（1月上旬ごろ）
- ②本登録データ提出期間の前（6月上旬ごろ）  
⇒JDCHCT ホームページに掲載される  
**バージョンアップの案内をご確認ください**

★新規調査項目の追加や不具合の修正、新機能の実装などが含まれることがありますので、必ずご対応ください

★旧バージョンでデータ提出にご対応いただいた場合、最新バージョンへ更新・データ入力などをご対応いただいた上でデータ再提出をお願いすることがあります

★新バージョン公開後、古いバージョンでのログインが適切でないと判断された時には、旧バージョンではTRUMP2®へログインできなくなるよう制限を行っています

TRUMPのバージョンアップが必要かどうか、ご確認頂きたいタイミングは年に2回ございます。

1回目は例年1月上旬ごろにご依頼する「台帳登録」のデータ提出期間の前、2回目は例年6月上旬ごろにご依頼する「本登録」のデータ提出期間の前です。新規調査項目の追加や不具合の修正、新機能の実装などがなされた新しいバージョンを公開していることがありますので、バージョンアップにご対応ください。また、これら2回のデータ提出のご依頼も兼ねて、皆様へバージョンアップをメールでお願いすることもございます。

なお、旧バージョンのTRUMPをお使いの上データ提出にご対応いただいた場合、新バージョンからの調査項目変更に対応がなされていないことを理由にデータの再提出をお願いすることがございます。最新バージョンへ更新後、変更された調査項目への追加入力や入力内容の見直しをしていただき、データの再提出をご依頼することがございますので、ご注意ください。

また、新バージョンが公開されたのちに、旧バージョンでのログインが適切でないと判断された時には、旧バージョンではTRUMPへログインできなくなるような制限を行うことがあります。

## TRUMP2® バージョンアップの方法

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

その他、不具合の修正などのため不定期なバージョンアップが発生することも  
⇒リリースノートにてご確認ください

「アップデートの内容」をクリック

TRUMP v2.4.1 リリースノート

アップデートについて

アップデート方法

主な変更点

ver2.4.1

ver2.4.1-1

ver2.4.1-2

ver2.4.1-3

4

また、不具合の修正などの為不定期なバージョンアップが発生することもあります。こちらの詳細につきましてはJDCHCTホームページから「Web認証」のページへ進み、「リリースノート」に掲載されている情報にてご確認ください。

なお、「Web認証」のページにつきましては、後程もう一度詳しくご説明させていただきます。

## Step 1. バックアップデータを作成する

データ管理PCにて「TRUMP管理者」のアカウントでログインされている場合のみ作成が可能です。  
ホーム画面左下の「バックアップ・汎用データ作成」ボタンをクリックします



5

では簡単に、TRUMPのバージョンアップを行う際の手順をご説明いたします。  
ご施設内で何度もご対応いただいた方もいらっしゃると思いますが、本日はおさらいとしてご覧いただければと思います。

まず、バージョンアップの前には必ずバックアップデータを作成してください。  
バックアップデータは、データ管理PCを使って「TRUMP2管理者」のアカウントでログインされている場合のみ作成ができます。  
ホーム画面左下の「バックアップ・汎用データ作成」ボタンをクリックします。

## Step 1. バックアップデータを作成する

ファイルへの書き出し画面が表示されます。  
「バックアップ」タブを選択し、「書き出す」ボタンをクリックして  
TRUMP2バックアップファイルを保存します。

オンライン登録の場合

「個人情報のみバックアップ」



オフライン登録の場合

「全データのバックアップ」

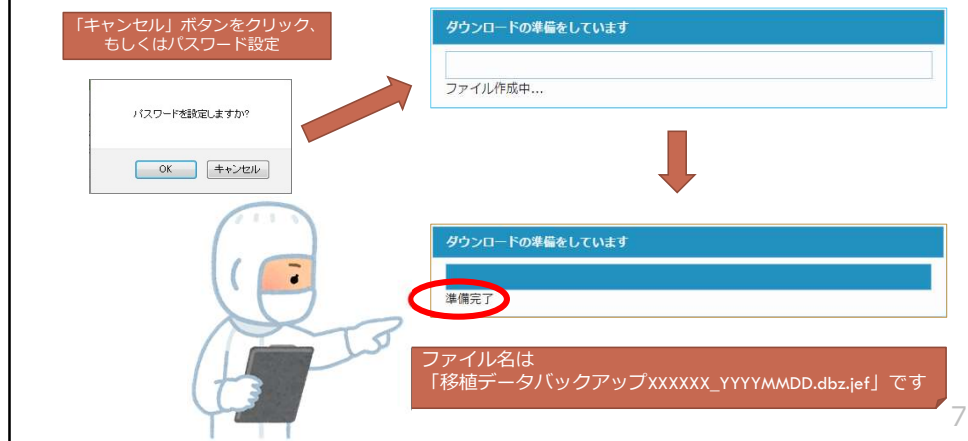


「バックアップ・汎用データ作成」を押すと、ファイルへの書き出し画面が表示されます。「バックアップ」のタブを選択し、TRUMPをオンライン稼働しているご施設の場合は「個人情報のみバックアップ」を、オフライン稼働しているご施設の場合は「全データのバックアップ」が選択されていることをご確認いただき、「書き出す」をクリックしてください。

なお、この「バックアップデータの作成」につきましては、この後ご説明する「データ管理PCの切り替え方法」の項目でも活躍いたします。

## Step 1. バックアップデータを作成する

パスワード設定の確認メッセージが表示されます。  
必要に応じてパスワードを設定して下さい。  
「準備完了」と表示されるとダウンロード完了です。



「書き出す」のボタンをクリックすると、バックアップデータにパスワードを設定するかどうかの確認画面が表示されますので必要に応じてパスワードを設定してください。その後、バックアップデータのダウンロードが始まります。「準備完了」と表示されると、作成完了です。

なお、作成されたバックアップデータはお使いのパソコン内の「ダウンロードフォルダ」に保存されますので、必要に応じて保存場所や記録媒体への移動をお願いします。

### Step 2. 最新バージョンの TRUMP2 の インストーラーをダウンロード

インターネットにつながっている PC から JDCHCT の Web サイトへアクセスし、最新バージョンの TRUMP2 のインストーラーをダウンロードします。



8

つぎに、最新バージョンのTRUMP2のインストーラーをダウンロードします。インターネットにつながっているパソコンから、JDCHCTのWebサイトへアクセスし、トップページの赤い「TRUMP」のバナーをクリック、移植登録一元管理プログラムのページから、青い「Web認証」のボタンをクリックして進み、「Web認証」後のページから最新バージョンのインストーラーをダウンロードしてください。

ダウンロードされたものは、先ほどと同じくお使いのPC内の「ダウンロードフォルダ」に保存されますので、適宜データ管理PCのデスクトップなど、保存場所の変更にご対応ください。

また、最新バージョンの公開をTRUMP2のホーム画面上で通知することがあります。そこからもインストーラーのダウンロードが可能となっております。

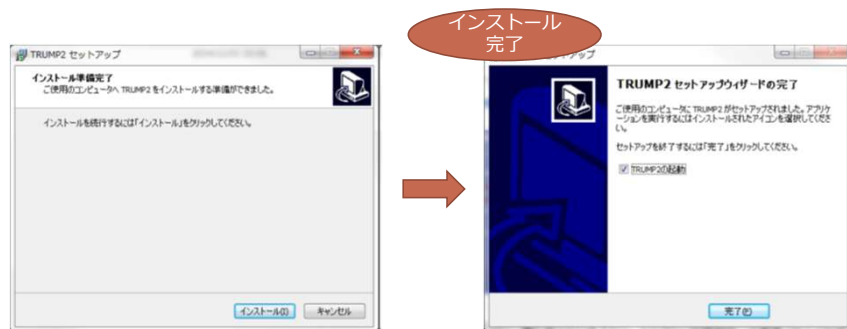


## TRUMP2® バージョンアップの方法

### Step 3. インストール作業を進める

TRUMP2を起動している場合は終了し、ダウンロードしたインストーラーをダブルクリックして起動し、インストール作業を進めます

※お使いのPCのセキュリティ設定により確認画面等が表示されることがあります



9

インストーラーの準備が整いましたら、データ管理PCでインストール作業を進めます。

TRUMPを起動している場合は終了して、ダウンロードしたインストーラーをダブルクリックして起動、インストール作業を進めます。お使いのパソコンによっては、いまお見せしている画面の他にセキュリティ警告画面などが出ることもございます。

インストールが完了しましたら、バージョンアップは成功です。「完了」のボタンを押すと、TRUMPのログイン画面が表示されますのでデータ管理PCのログインID、パスワードを入力して、正常に動作するか確認をお願いします。

## TRUMP2® バージョンアップの方法

より詳細な画像付き手順は  
「TRUMP2マニュアル（第2版）」  
でご確認頂けます

該当ページ：  
「5.6 TRUMP2のバージョンアップ」(p.19)

OS別のインストール確認画面の  
対処方法につきましても  
ご説明を行っております。  
是非ご一読ください！



今ほどご紹介したバージョンアップ方法のより詳細な手順につきましては  
JDCHCTホームページに公開されている「TRUMP2マニュアル第2版」でもご確  
認頂けます。  
また、今回のご説明ではお伝えしきれなかったOS別のインストール確認画面の  
対処法につきましても細かな説明がございますので、お困りの際はぜひ一度お目  
通しください。

## 本日の内容

---

1. TRUMP2® バージョンアップの方法
2. データ管理PCの切り替え方法
3. 必須項目をどうしても入力できない時の対処方法
4. お問い合わせ先

2.データ管理PCの切り替え方法

## データ管理PCの切り替え方法

- ・パソコンの老朽化
- ・突発的な故障
- ・Windowsサポートの終了etc…

端末を新調した場合も  
TRUMP2のデータを  
正しく引き継ぐことが出来れば  
従来通りの利用が可能です



12

データ管理PCのご変更手続きにつきましてはお電話・メール共に非常によくお問い合わせいただくものの一つです。

パソコンの老朽化や突発的な故障が理由の買い替えはもちろんですが、2020年はWindows7のサポートが終了になったこともあり、それを機会に買い替えをご検討されるご施設が多かったものと考えられます。

端末を新しくした場合も、TRUMPは、データを正しく引き継ぐことで従来通りご利用いただくことが出来ます。

## データ管理PCの切り替え方法

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

バックアップデータの作成方法は  
先ほどの「TRUMP2® バージョンアップの方法」でお伝えした通りです

オンライン登録の場合

「個人情報のみバックアップ」



オフライン登録の場合

「全データのバックアップ」



**※データ管理PC内にもみ保存されているデータが存在します※**  
⇒バージョンアップやパソコン交換時のみでなく  
定期的にバックアップを取ることが非常に重要です

13

データ管理PCの交換の場合も、まず古い端末でバックアップデータを作成することが必要です。

手順は先ほどお伝えしたバージョンアップの際におこなう「バックアップ・汎用データ作成」のボタンから、同様に進めていただけます。

また、こちらの作業はオンライン登録・オフライン登録を問わず、ご施設のデータ管理PCの中にのみある情報を保存する為の動きとなりますので非常に重要な作業です。

今回お伝えしたようなバージョンアップの対応や、データ管理PCの切り替えに際してだけでなく、日ごろからこまめにバックアップを取っていただくことをJDCHCTではお勧めしております。

## データ管理PCの切り替え方法

新しくデータ管理PCとするパソコンにTRUMP2をインストール



「初めてTRUMP2を起動しました」という画面が表示されます



「バックアップ取り込み」を選択し  
“参照”から先ほど作った  
バックアップデータを選んで  
「取り込む」を選択



↓  
「復元が完了しました」と表示されたら  
ログイン・ホーム画面の表示が  
できることを確認し、  
データ移行作業は完了です。

古い端末でバックアップデータの作成が終わりましたら、新しくデータ管理PCとするパソコンに最新バージョンのTRUMPをインストールします。

インストールが終わると自動的にTRUMPの画面が立ち上がり、「初めてTRUMP2を起動しました」という画面が表示されます。

この画面右下から「バックアップ取り込み」をクリックし、古い端末から記録媒体などで移動させたバックアップデータを選んで「取り込む」を選択するとデータの取り込み処理が開始されます。

「復元が完了しました」というメッセージが出ましたらログイン・ホーム画面の表示がともに正常に行われることをご確認頂き、移行作業完了となります。

### 旧PCにてTRUMP2をアンインストール

- コントロールパネル  
→「JDCHCT TRUMP2」を選択し、[削除]をクリック
- 「ローカルディスク(C:)」のドライブ  
→「JDCHCT」、「JSHCT」フォルダを削除



存在するフォルダのみ削除してください  
(いずれか1つしかない場合あり)



**個人情報が含まれたデータが、PC内に保存されています。**  
旧PCの処理においては、施設内の規定に従い、  
細心のご注意をお願いいたします。

ゴミ箱内のデータ削除もお忘れなく



すべての移行作業が終わりましたら、古い端末にあるTRUMP2のアンインストールにご対応ください。

Windowsの「コントロールパネル」より「JDCHCT TRUMP2」を選択し、[削除]をクリック、またエクスプローラーを起動し、「ローカルディスク(C:)」のドライブにある「JDCHCT」、「JSHCT」フォルダを削除してください。

これらは古い端末の中に保存されている患者様の個人情報が含まれたデータを削除する作業になりますので必ずご対応をお願いします。

また、古い端末の処理につきましては、ご施設内の規定に従って、細心の注意をお願い致します。

### 「これらの方法でも復旧が出来なかった…。」

⇒患者様の個人情報部分を含まない情報については  
お申し出直近の状態に復旧できる可能性があります

**予期せぬ事態でデータ管理PCを  
交換することになったときも、あきらめず、  
まずは一度JDCHCTまでご相談ください！**



しかし、ご状況によっては、本日お伝えした方法ではうまくデータの復旧が出来ない場合もあるかもしれません。

患者様の個人情報部分を含まない症例データにつきましてはJDCHCTに保管されている情報を用いて復旧ができる可能性もございます。  
ご施設の状況をお伺いしたうえで最適な方法をデータセンターがご案内いたしますので、予期せぬ事態でデータ管理PCを交換することになったときも、あきらめずにまずはJDCHCTまでご相談ください。



## データ管理PCの切り替え方法

より詳細な画像付き手順は  
「TRUMP2マニュアル（第2版）」でご確認頂けます

該当ページ：  
「8.5 データ管理PCを他のPCに切り替えたい」（p.61）

オンライン登録施設の場合は  
データ管理PCの認証を行う必要がありますので  
マニュアルにて手順をご確認ください。

該当ページ：  
「5.4 オンラインモードに切り替える」（p.14）



こちらにつきましても、詳細な手順は「TRUMP2マニュアル第2版」にてご確認頂けます。

また、オンライン登録施設では、ログインが正常にできることを確認した後にデータ管理PCの認証を行う必要がありますのでお困りの際はマニュアルにてご確認ください。

1. TRUMP2® バージョンアップの方法
2. データ管理PCの切り替え方法
3. 必須項目をどうしても入力できない時の対処方法
4. お問い合わせ先

### 3. 必須項目をどうしても入力できない時の対処方法

ここでは「エラー除外」と呼ばれるTRUMPの機能の一つをご紹介します。

## 必須項目をどうしても入力できない時の対処方法

### TRUMP2調査項目の「必須項目」

- 詳細入力画面で調査項目名をクリック  
→「調査対象」をクリックすると必須項目かどうかを確認できます



- ひとつの移植症例内にあるすべての必須項目が入力されると  
症例一覧画面の「チェック」列の表示が「OK」となります。

TRUMPで調査している項目には、「必須項目」とそうでない項目の2種類があります。

「必須項目」は、その名の通りデータを必ずご入力いただくようご依頼しているものです。

症例の詳細入力画面で調査項目名をクリックし、立ち上がるメニューから「調査対象」をクリックすると、その項目が必須項目にあたるかどうかを確認出来ます。

「バンク100日報告」と「本登録」における「必須項目」には相違がありますので、詳しくお知りになりたいときはこちらにてご確認ください。

ひとつの移植症例内にあるすべての必須項目が入力されると、症例一覧画面の「チェック」列の表示がOKとなります。

## 必須項目をどうしても入力できない時の対処方法

### 「必須項目だけど、理由があって入力できない・・・」

「検査対象外」「カルテが既に破棄されている」などの理由で  
入力が困難な場合も・・・。



### エラー除外

- ・入力が困難な理由を「エラー除外」の機能を用いて入力が可能
- ・理由が妥当な場合には、該当の移植症例は「入力完遂」  
＝「OK」の扱いとなります



本登録でご提出いただいたデータの  
「エラー除外」は、全件、  
JDCHCTのデータマネージャーが  
詳細に確認しています

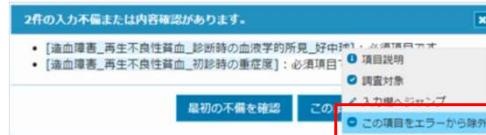
しかし、必須項目であっても、検査の対象外であったり、カルテが既に破棄されているなどの理由により、ご施設でのデータ入力が困難な場合もあるかと思えます。

そういった場合にご使用いただけるのが「エラー除外」の機能です。

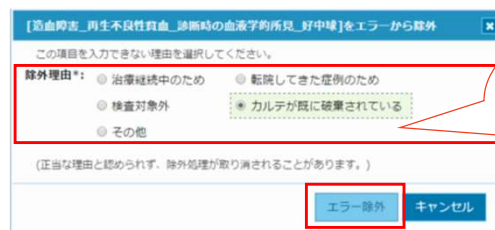
「エラー除外」の機能を用いて、入力できない理由をご選択・あるいはご入力いただくとJDCHCTがそちらを確認致しますので、内容が妥当であることが判定できた際には本登録のデータチェック時に「入力完遂」、つまり「OK」の扱いで処理させていただきます。

## 必須項目をどうしても入力できない時の対処方法

1. 入力不備の一覧から、エラー除外したい項目をクリックし、メニューから「この項目をエラーから除外」をクリック



2. 除外理由選択画面が表示されます。  
除外理由から該当するものを選択し、「エラー除外」ボタンをクリック



「その他」を  
選択した場合は  
理由もご入力ください

21

エラー除外は、各症例の入力ページから「入力チェック・保存」ボタンをクリックすると現れる「入力不備一覧」から行います。

エラー除外したい項目をクリックし、立ち上がるメニューから「この項目をエラーから除外」をクリックします。

次に除外理由選択画面にて、該当する理由を選択、あるいは「その他」を選んで理由をご入力いただき、「エラー除外」のボタンをクリックすると作業完了となります。

## 必須項目をどうしても入力できない時の対処方法

より詳細な画像付き手順は  
**「TRUMP2マニュアル（第2版）」**でご確認頂けます

該当ページ：  
「7.6 エラー除外」(p.54)  
「8.10 必須項目をどうしても入力できない」(p.64)



こちらにつきましても、詳細な手順は「TRUMP2マニュアル第2版」にてご確認頂けます。  
症例一覧画面でどのように表示されるかなども詳細にお伝えしておりますので、お困りの際はマニュアルをごらんください。

## 必須項目をどうしても入力できない時の対処方法

エラー除外の理由によっては、再度NGとして  
ご返却・本登録データの再提出をご依頼することも



データチェックの結果、「NG」とご連絡しました項目に対し、  
ご施設内で再確認するも入力できない場合は  
JDCHCTまでメールにてお問い合わせください。  
お申し出内容を精査し、  
「OK」の扱いとさせていただく場合があります

本登録データ受付期間に限らず、  
ご入力に迷われることがございましたら  
まずはお気軽にお問い合わせください。



なお、エラー除外を行った項目につきましては、ご入力いただいた理由により、再度ご修正をお願いすることもございます。  
その際はExcelファイルを添付の上、メールにてお送りしておりますので、そちらの記載内容をご検討の上、再度ご対応いただきますようお願いいたします。

こちらからお願いする内容でのご対応が難しいとき、あるいはご施設内で再確認しても入力できない場合などは、データセンターまでメールにてお問い合わせください。お申し出内容を精査し、「OK」の扱いにさせていただく場合がございます。

その他、本登録データの受付期間に限らず、エラー除外すべきか否かなどに迷われる入力項目がございましたら、まずはお気軽にお問い合わせいただけますと幸いです。

## 本日の内容

---

1. TRUMP2® バージョンアップの方法
2. データ管理PC交換時の切り替え方法
3. 必須項目をどうしても入力できない時の対処方法
4. お問い合わせ先

4.お問い合わせ先



## お問い合わせ先

The Japanese Data Center for Hematopoietic Cell Transplantation

日本造血細胞移植データセンター (JDCHCT)

メール: [jdchct-dc@jdchct.or.jp](mailto:jdchct-dc@jdchct.or.jp)

TEL: [052-722-4410](tel:052-722-4410)

お気軽に  
お問い合わせ  
ください!



※全職員の在宅勤務を実施しております※

お問い合わせへのご回答はメールを中心に対応させていただいておりますので  
何とぞご協力のほどお願い申し上げます。

25

お問い合わせはメールを中心に対応しております。  
また、ただいま、新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、全職員の在宅勤務を推奨しております。  
職員のオフィス勤務日数削減に伴い、郵送やお電話でのお問い合わせには通常よりもご回答にお時間をいただく場合がございますのでご了承ください。

今後とも日本造血細胞移植データセンター業務に格別のご高配を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。